

# 第 6 章

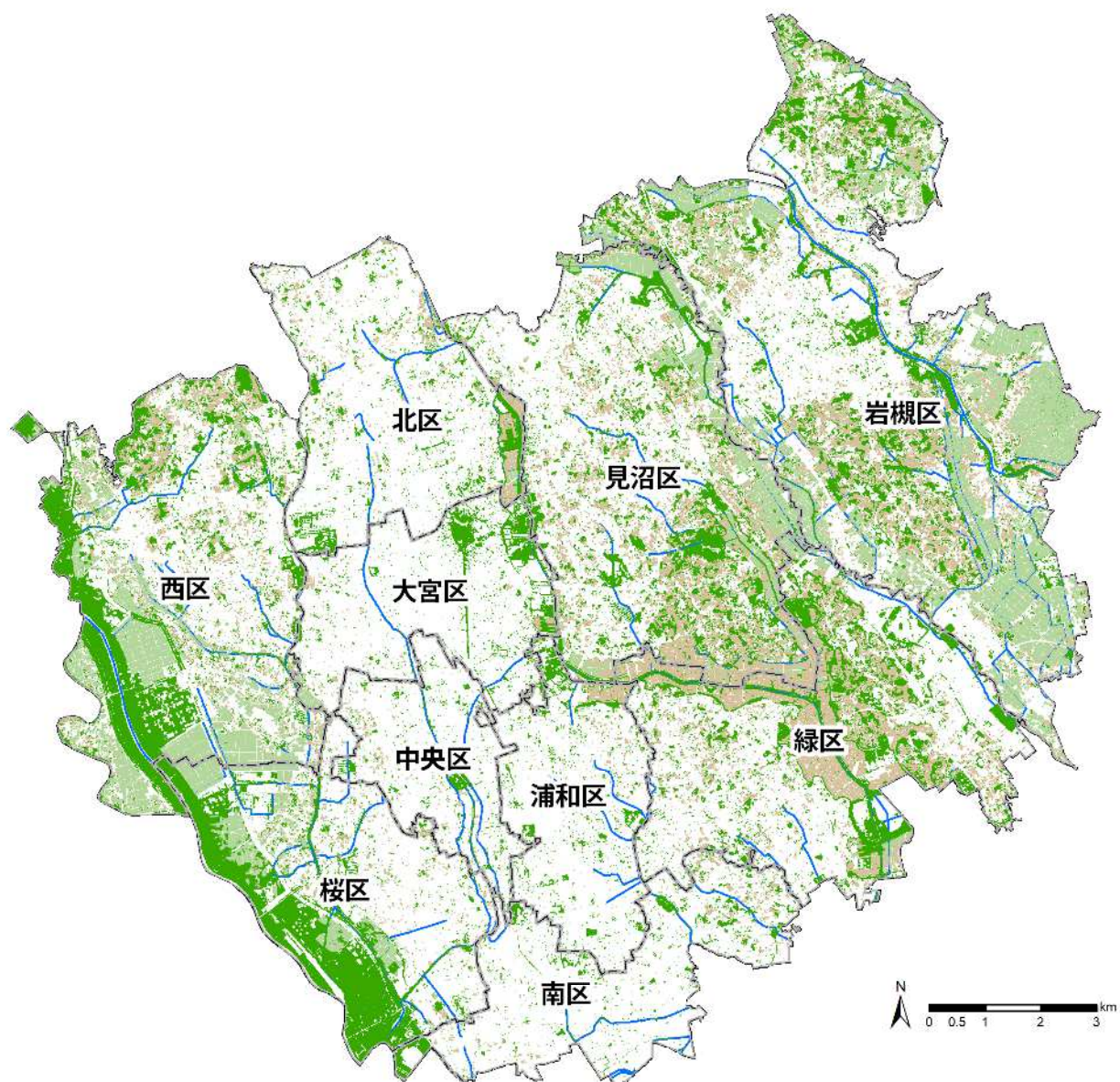
---

## 区別計画



## 第6章 区別計画

区別計画とは、区全体の現況、将来像、取組展開等、基本的な方針を示しており、これを基に地域に即したまちづくりを進めていきます。



区位置図

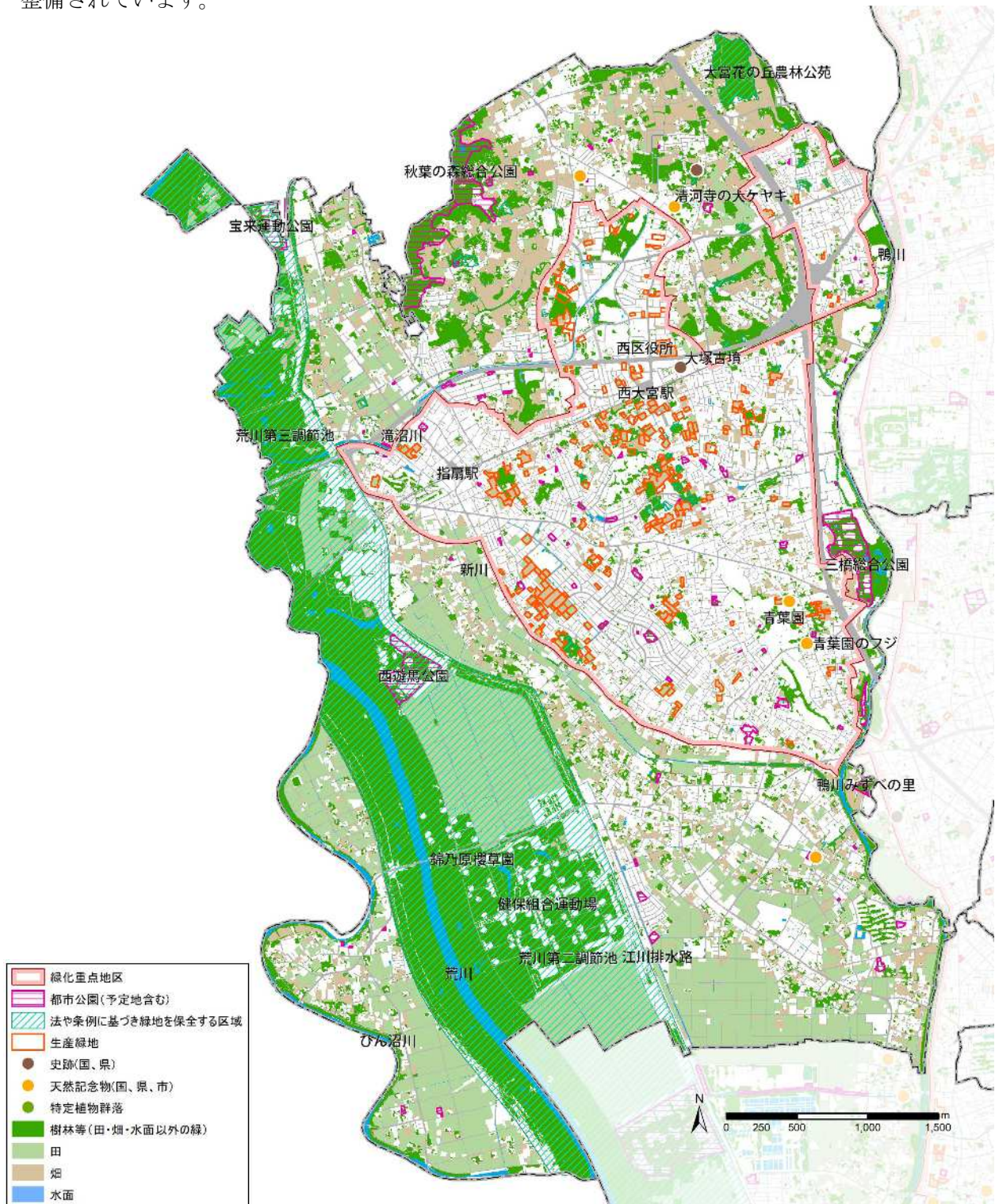


# 1 西区



## (1) 緑の現況

西には広大な緑の空間を抱える荒川やびん沼川、東には桜並木がきれいな鴨川が巡っています。荒川周辺の低地には水田を主とする農地や集落が広がっています。北部の台地上には住宅地が形成されていますが、北部の中釘から西新井一带は、雑木林・屋敷林・農地が混在する緑の濃い地域となっています。また、神社仏閣など地域固有の歴史・文化資源も多く残されています。都市公園は、三橋総合公園・宝来運動公園・秋葉の森総合公園・西遊馬公園・鴨川みずべの里などが整備されています。





## (2) 緑の将来像

# 水と緑と花のまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・指扇駅・西大宮駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・秋葉の森総合公園や三橋総合公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。
- ・緑の核となり、多くの人が訪れる大規模公園である秋葉の森総合公園の整備を推進します。



秋葉の森総合公園

#### ○荒川等本市を支える緑の保全・活用

- ・荒川を国と連携して広域的なエコロジカル・ネットワーク（樹林地や水辺空間等をつないだ有機的なネットワーク）の拠点として保全・活用します。
- ・荒川周辺の農地を市全体の環境を支える場として保全に努めます。
- ・荒川第二・第三調節池の整備に合わせ、国土交通省とともに河川空間の利活用を検討します。
- ・鴨川の水辺や桜並木などの保全に努め、調節池を含めて活用を進めます。
- ・びん沼川の自然環境の保全・活用を進めます。
- ・秋葉の森総合公園では、貴重な自然環境を保全しつつ、市民の健康・レクリエーション空間としての活用を図ります。

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・武蔵野の面影を残す中釘・西新井地区一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用を目指します。
- ・清河寺などの社寺林・大塚古墳などの歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。
- ・鴨川・滝沼川・新川・江川排水路などの水辺を軸として、周辺の公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。



西新井ふるさと緑の景観地

## 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。

### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。

### ○生物多様性の確保

- ・錦乃原櫻草園のサクラソウなどの貴重な自然環境の保全・復元に努めます。

## 3 緑を生かして都市の強靭性を高め、安全・安心な都市をつくります

### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めます。
- ・農業生産性を向上させるため、水路整備による安定した用水の確保、排水機能の強化及び風水害時における水路機能等の向上を図ります。

### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

## 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。



西大宮駅前の花壇

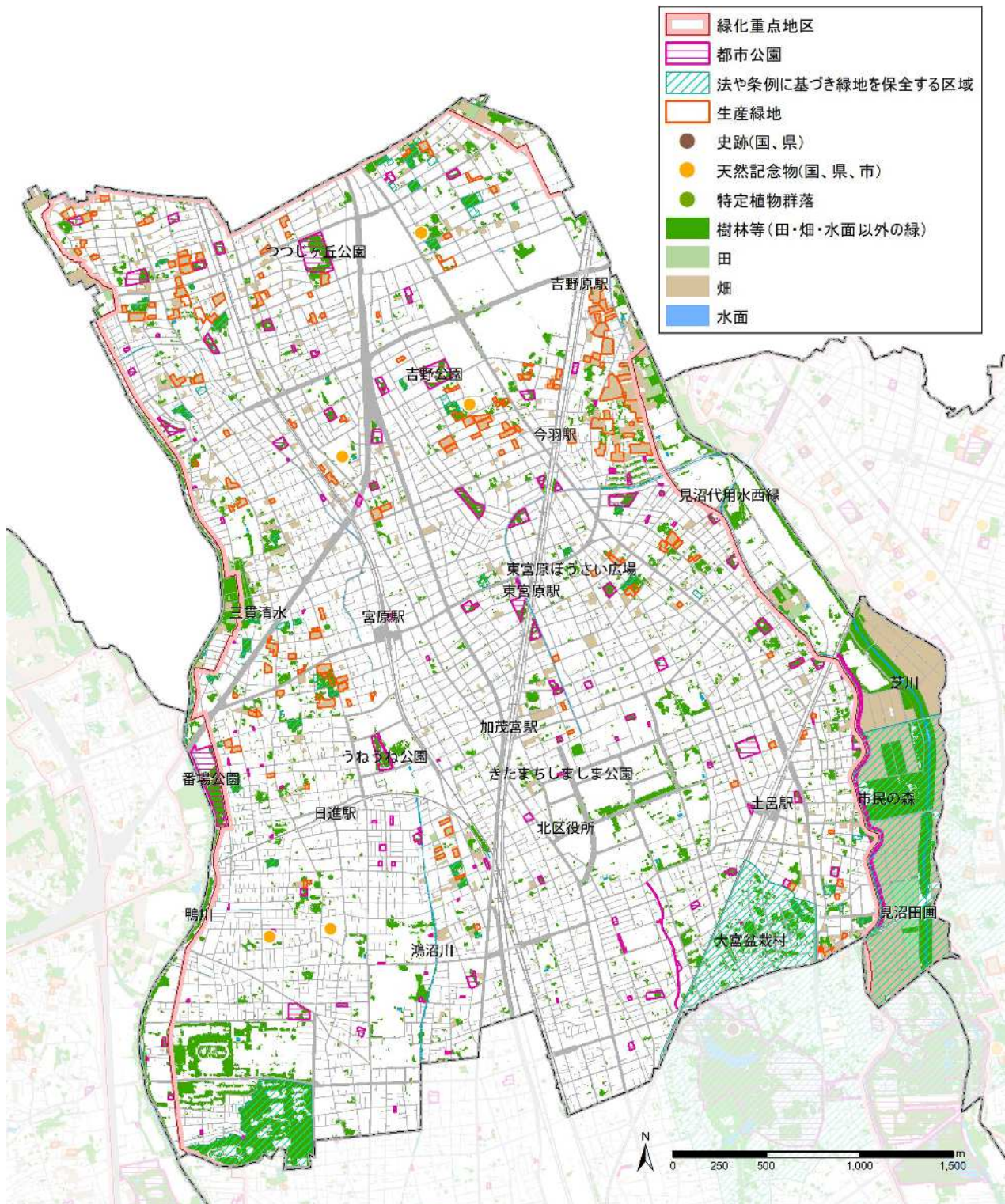


## 2 北区



### (1) 緑の現況

東には見沼田圃が広がり、西には鴨川、中央部には鴻沼川が流れています。区域の大部分は市街地で、鉄道沿線一帯は緑の少ない状況となっています。北区の緑の大きな特色として、風致地区に守られた盆栽文化を内外に伝える大宮盆栽村があり、緑豊かな街並みを形成しています。また、鴨川沿いの斜面林に湧く清水である三貫清水や見沼代用水西縁沿いには、市民の森といった市民に親しまれている緑があります。



## (2) 緑の将来像

# 歴史と文化を伝える緑につつまれた、住みつづけたいまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・副都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・宮原駅・日進駅・土呂駅・加茂宮駅・東宮原駅・今羽駅・吉野原駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・うねうね公園やきたまちしましま公園、東宮原ぼうさい広場等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。

#### ○見沼田圃等本市を支える緑の保全・活用

- ・見沼田圃と周辺斜面林の保全に努め、自然・農業とのふれあい・体験の場として活用します。
- ・三貫清水緑地をはじめとする鴨川周辺の斜面林の保全と活用に努めます。

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・氷川神社・大宮公園からつながる大宮盆栽村の緑の街並みの保全・育成に努めます。
- ・本市の魅力ある地域資源である盆栽の振興を図るため、盆栽文化の発展に資する取組を実施します。
- ・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。
- ・見沼田圃・鴨川・鴻沼川などの水辺を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。



大宮盆栽村



## 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。

### ○農とふれあう機会の創出

- ・市民が緑と触れ合える場の創出の一環として「菜の花まつり」、「農業祭」を開催します。

### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。



市民の森

## 3 緑を生かして都市の強靱性を高め、安全・安心な都市をつくります

### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、特別緑地保全地区・保存緑地・自然緑地などを活用し担保性を高めます。

### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

## 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。



宮原駅前の花壇

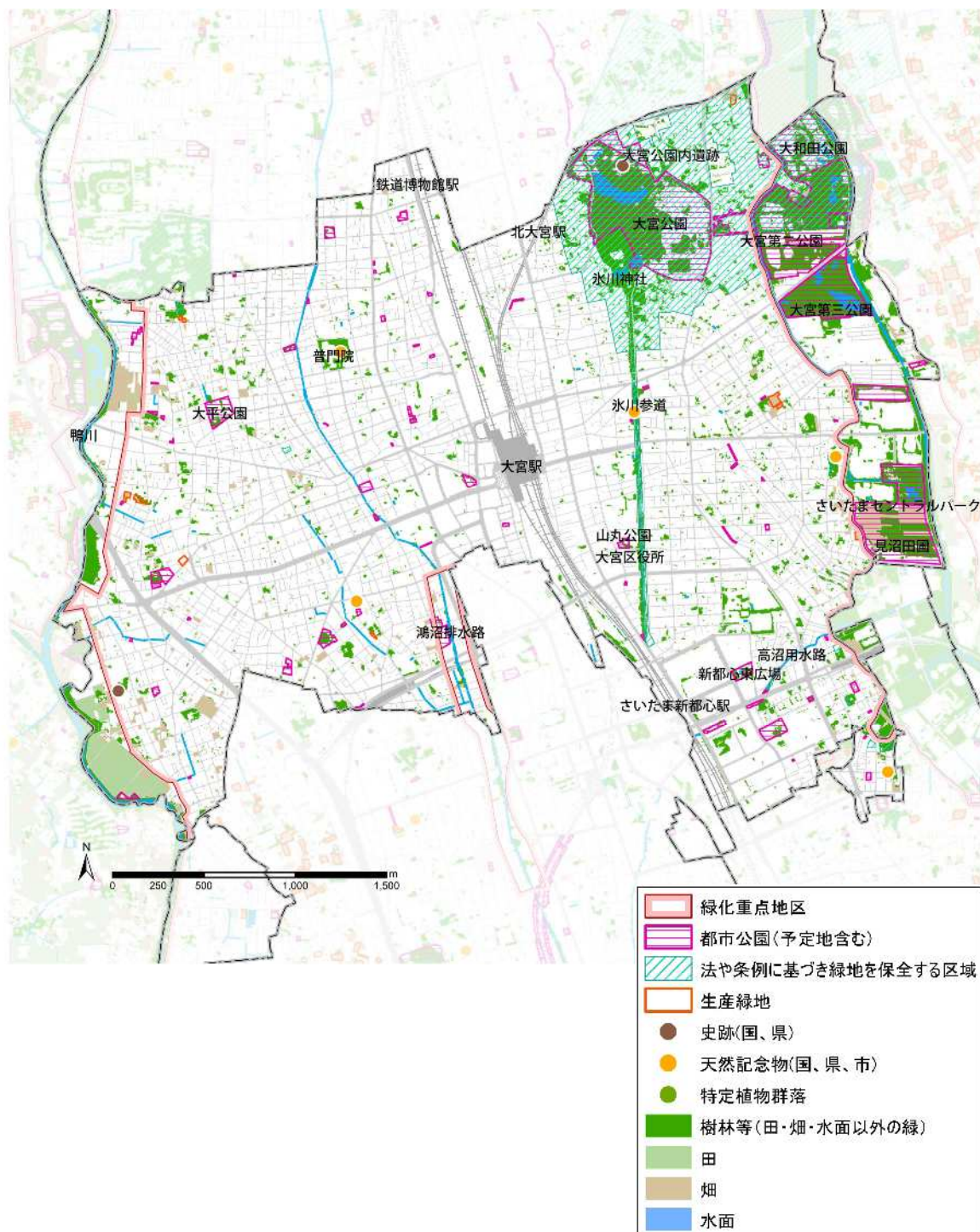


### 3 大宮区



#### (1) 緑の現況

東には見沼田圃があり、西には鴨川、中央に鴻沼川が流れています。区の北部には緑の濃い氷川神社・大宮公園一帯が区を代表する重要な緑の資源となっています。しかし、区全体として緑は少なく、特に鉄道沿線一帯で少ない状況です。都市公園は、大宮公園・大宮第二公園・大宮第三公園・大和田公園などが整備されているほか、見沼田圃ではさいたまセントラルパークの整備を進めていますが、身近な公園の計画的な整備が必要です。



## (2) 緑の将来像

# 氷川の杜と都心の緑が調和するまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・ウォーカブルなまちなかの創出を図り、地域の植木産業と連携しながら、ストリートプランツ等の取組を進めます。
- ・北大宮駅・大宮公園駅・鉄道博物館（大成）駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。



大宮ストリートプランツプロジェクト  
提供：UDCO

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・新都心東広場や山丸公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。
- ・見沼田圃・鴨川・鴻沼川・高沼用水路を軸として、氷川参道・大宮公園・さいたま新都心一帯を結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。

#### ○見沼田圃の保全と活用

- ・見沼田圃沿いの斜面林などの保全・活用に努めます。
- ・見沼田圃の保全・活用・創造を先導し緑の核となるさいたまセントラルパークの整備を進めます。

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・氷川神社・大宮公園の緑の保全・育成に努めます。
- ・氷川参道のケヤキ並木の保全と、快適に歩ける参道の整備に努めます。
- ・氷川神社周辺の緑の保全・育成に努め、参道沿道の魅力ある緑化を促進します。
- ・普門院などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。



氷川参道



## 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。

### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。

## 3 緑を生かして都市の強靭性を高め、安全・安心な都市をつくります

### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めます。

### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・市民の避難場所となり、かつ広域防災拠点を補完する防災機能を有するさいたまセントラルパークの整備を進めます。
- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。



さいたまセントラルパーク整備イメージ

### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

## 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

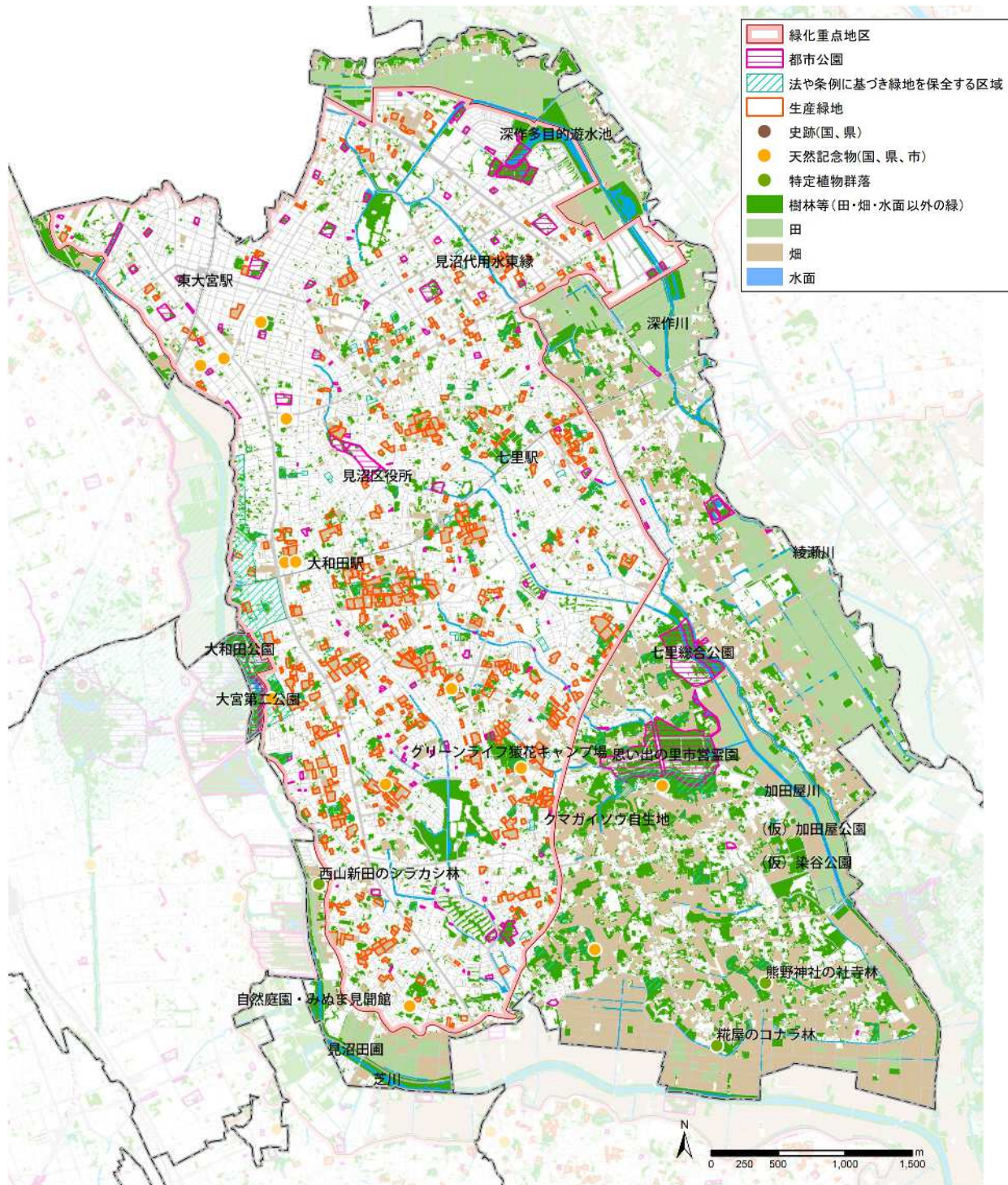
- ・大宮駅周辺グリーンインフラ公民連携エリアプラットフォームを中心に、公民連携によるグリーンインフラの取組を通じて、都市の価値向上と活性化、豊かな生活空間の形成に寄与していきます。
- ・グリーンインフラの取組の定着化に向けた社会実験を実施します。
- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。

## 4 見沼区



### (1) 緑の現況

区域の西から南、東を縁取るように見沼田圃が広がり、東の綾瀬川周辺には水田などの農地と集落地が広がっています。また、見沼田圃には芝川・加田屋川・見沼代用水が、東部には綾瀬川・深作川が流れ、台地を豊かな緑や水辺が取り囲んでいます。台地上には市街地が広がり、中央部には一部に樹林地・農地が残り、南東部には樹林地・農地が多く分布しています。都市公園は、七里総合公園・思い出の里市営霊園などが整備されています。北部では身近な公園の整備が進んでいますが、南部では土地区画整理事業等を考慮しながら計画的な整備が必要です。





## (2) 緑の将来像

# 見沼の自然環境につつまれた、花と緑のあふれるまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・東大宮駅・大和田駅・七里駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○本市を支える緑の保全・活用

- ・見沼田圃・周辺斜面林、河川・水路を一体的に保全し、自然・農業とのふれあい・体験の場として活用します。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・見沼田圃における新たな散策拠点の検討や桜回廊の管理向上を図るとともに、情報発信力を強化します。
- ・染谷・加田屋地区で（仮）染谷公園、（仮）加田屋公園など、見沼田圃の自然環境に配慮した公園の整備を進めます。
- ・七里総合公園や東大宮中央公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。



見沼田圃の桜回廊

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・武蔵野の面影を残す片柳地区一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全に努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。
- ・見沼代用水を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。

### 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

#### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・土地区画整理事業などにあわせて、身近な公園の整備と緑豊かな街並みの形成に努めます。

#### ○潤いある生活環境の形成

- ・季節の草花で彩られた個人の庭園等を紹介し、地域の方々と来場者の交流を通じてコミュニティづくりを図る見沼区オープンガーデンを推進します。
- ・綾瀬川周辺の農地・集落地の緑の保全に努めます。
- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。

- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。

#### ○生物多様性の確保

- ・クマガイソウ自生地を保全します。



クマガイソウ

### 3 緑を生かして都市の強靭性を高め、安全・安心な都市をつくります

#### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地・自然緑地などを活用し担保性を高めます。

#### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

#### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

### 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

#### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。



雑木林体験の様子

(大和田緑地公園特別緑地保全地区)

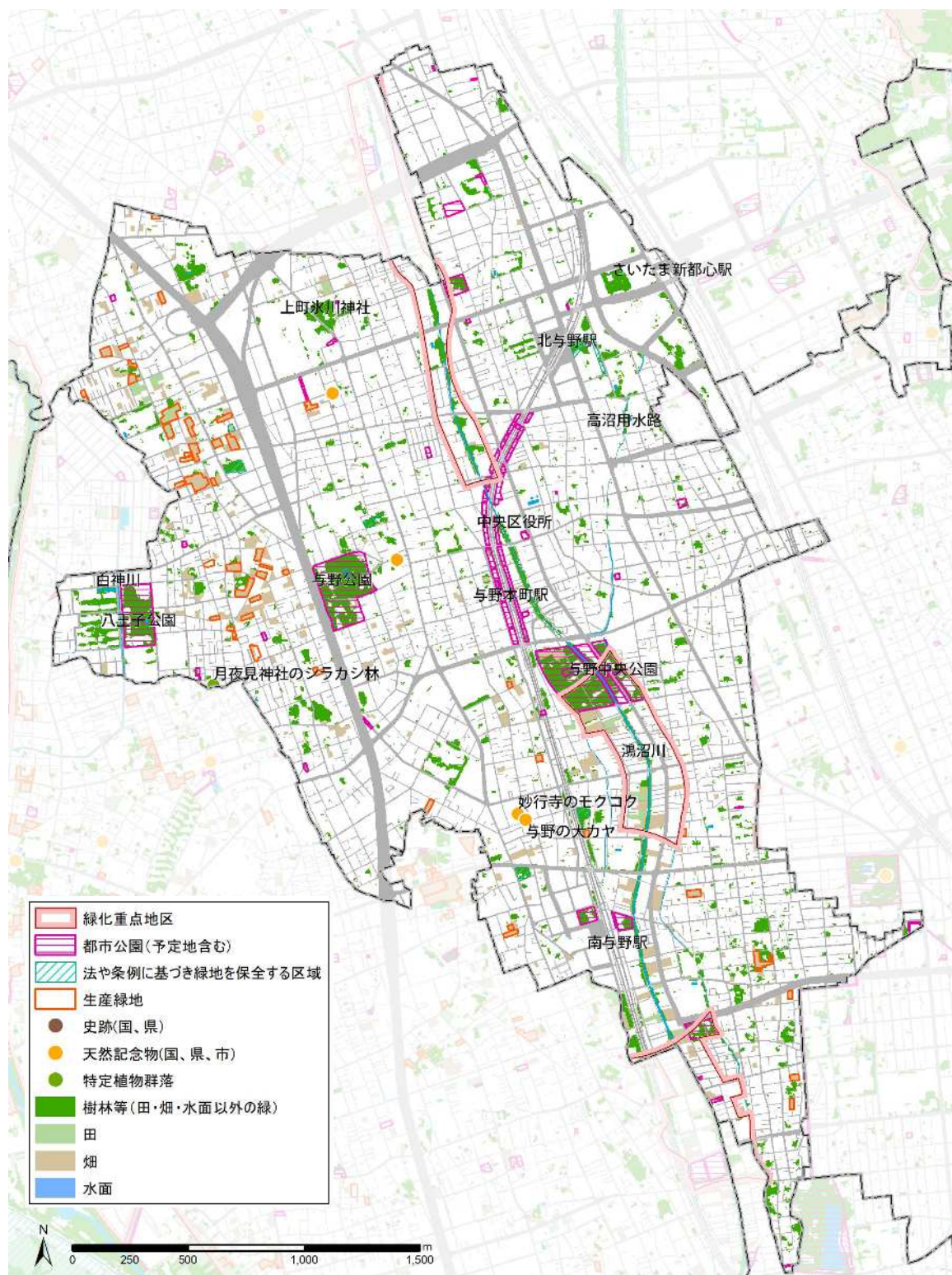


## 5 中央区



### (1) 緑の現況

中央には鴻沼川・高沼用水路が流れ、新幹線沿線の緩衝帯が連続しています。新大宮バイパスの西側には、屋敷林・農地などの緑が比較的残っている地域がありますが、全体的に緑は少なく、緑被率は市内で最も低い状況となっています。都市公園は、与野公園・与野中央公園・八王子公園などが整備されています。また、中央区は市場町・宿場町として栄えた歴史的な資源がある一方、北東部ではさいたま新都心の整備が進み、新しい街並みが形成されています。



## (2) 緑の将来像

# 歴史に培われた緑と新しい緑が融合する美しいまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・さいたま新都心駅・与野駅・北与野駅・与野本町駅・南与野駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・国道463号のケヤキ並木の保全と育成に努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・みどりと水辺が豊かな居心地の良い空間を創造するとともに、スポーツ・レクリエーション機能の維持・充実を図るため、与野中央公園の整備を進めます。
- ・与野中央公園や与野公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。



与野公園

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・浅間神社などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。
- ・鴻沼川・高沼用水路・白神川などの水辺を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりを進めます。
- ・与野七福神などの歴史的資源の保全とこれらを活かした歴史の散歩道ネットワークづくりに努めます。

### 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

#### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・新幹線沿線の緩衝帯（環境空間）で緑地等を整備し、市民の憩いの空間として活用します。



下落合環境空間緑道

#### ○潤いある生活環境の形成

- ・鴻沼川の緑の保全に努め、緑を生かした川岸にす



る等親しみやすい川づくりを進めます。

- ・河川・水路周辺で魅力ある緑化を促進します。
- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。

#### ○生物多様性の確保

- ・高沼用水路の緑の保全に努め、生き物の生育や生息に配慮した整備を進めます。

### 3 緑を生かして都市の強靱性を高め、安全・安心な都市をつくります

#### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めます。

#### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

#### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

### 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

#### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。
- ・教育機関との連携による緑のまちづくりの調査研究を進めます。



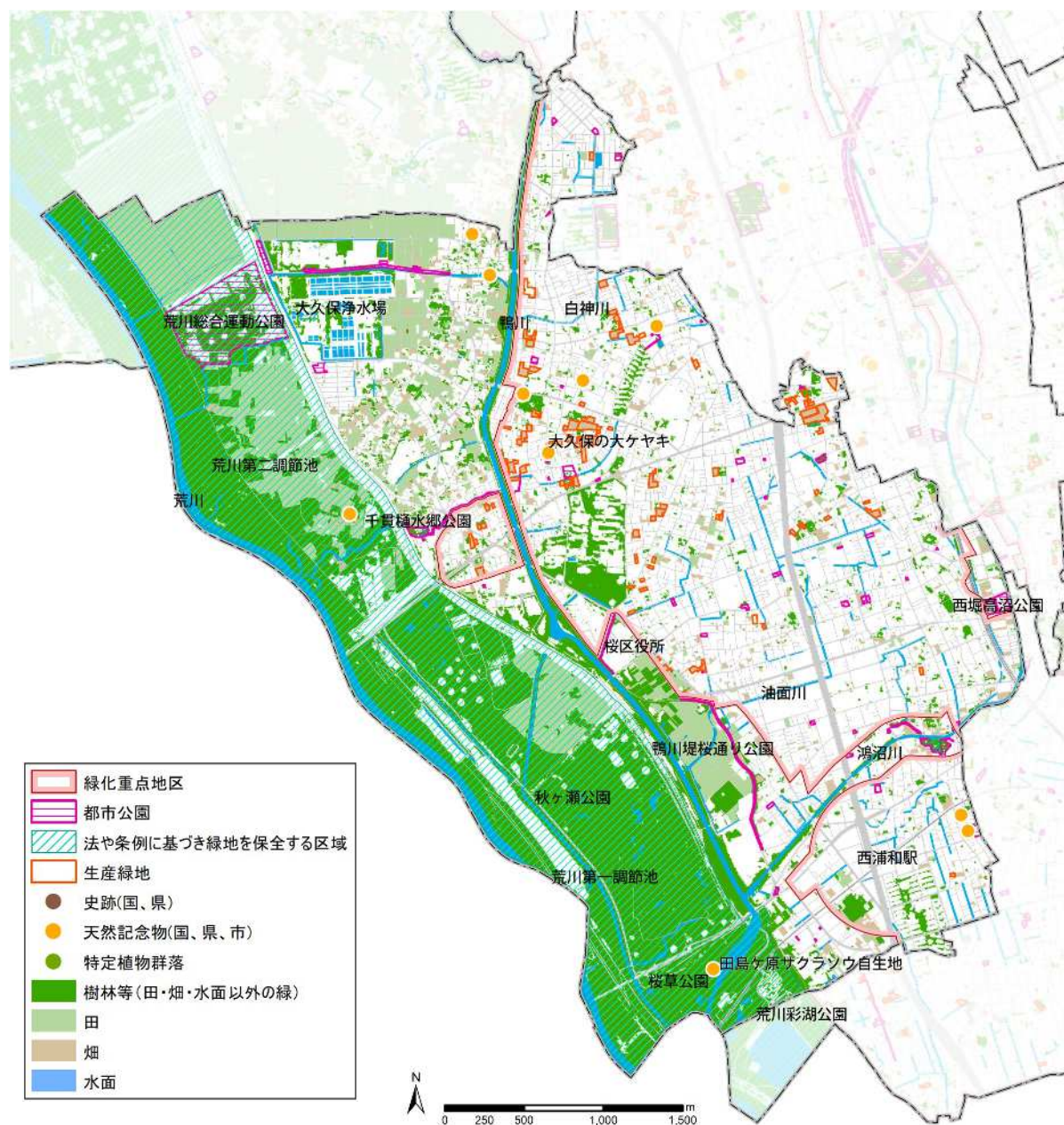
鈴谷西公園内の花壇

## 6 桜区



### (1) 緑の現況

西には荒川の河川敷が広がっています。荒川と鴨川に挟まれるように、屋敷林や農地が点在する地域があり、緑の多い田園的な面影を残しています。東部や南部は、住宅を中心とする市街地が形成される地区です。また、桜区は古墳や神社仏閣などの歴史的資源が多く残されているのが特徴です。都市公園は、荒川の河川敷に、桜草公園・秋ヶ瀬公園・荒川総合運動公園などの大規模な公園が整備されていますが、市街地の中で身近な公園の計画的な整備が必要です。





## (2) 緑の将来像

# 荒川の自然につつまれた、緑あふれるまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・西浦和駅・中浦和駅・南与野駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・西堀高沼公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。
- ・国道463号のケヤキ並木の保全と育成に努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○本市を支える緑の保全・活用

- ・荒川を国と連携して広域的なエコロジカル・ネットワーク（樹林地や水辺空間等をつないだ有機的なネットワーク）の拠点として保全・活用します。
- ・自然環境に配慮したスポーツ・レクリエーションの場づくりを検討します。
- ・荒川周辺の農地を市全体の環境を支える場として保全に努めます。
- ・鴨川や鴻沼川などの河川では、緑を生かした川岸にする等親しみやすい川づくりを進めます。
- ・秋ヶ瀬公園拡張予定地では、区役所に隣接した立地を生かして、埼玉県とともに緑の拠点づくり等を目指します。
- ・荒川第二・第三調節池の整備に合わせ、国土交通省とともに水辺公園等の河川空間の利活用を推進します。



荒川総合運動公園

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・社寺林・古墳などの歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・荒川・鴨川・鴻沼川などの水辺を軸として、公園や歴史的資源を結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。



鴨川堤桜通り公園

## 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・新幹線沿線の緩衝帯（環境空間）で緑地等を整備し、市民の憩いの空間として活用します。

### ○農とふれあう機会の創出

- ・自然環境と調和した、まとまりのある農地を保全します。

### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。

### ○生物多様性の確保

- ・国指定特別天然記念物の田島ケ原サクラソウ自生地などの貴重な自然環境の保全に努めます。



田島ケ原サクラソウ自生地

## 3 緑を生かして都市の強靱性を高め、安全・安心な都市をつくります

### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めます。

### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

## 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。
- ・教育機関との連携による緑のまちづくりの調査研究を進めます。

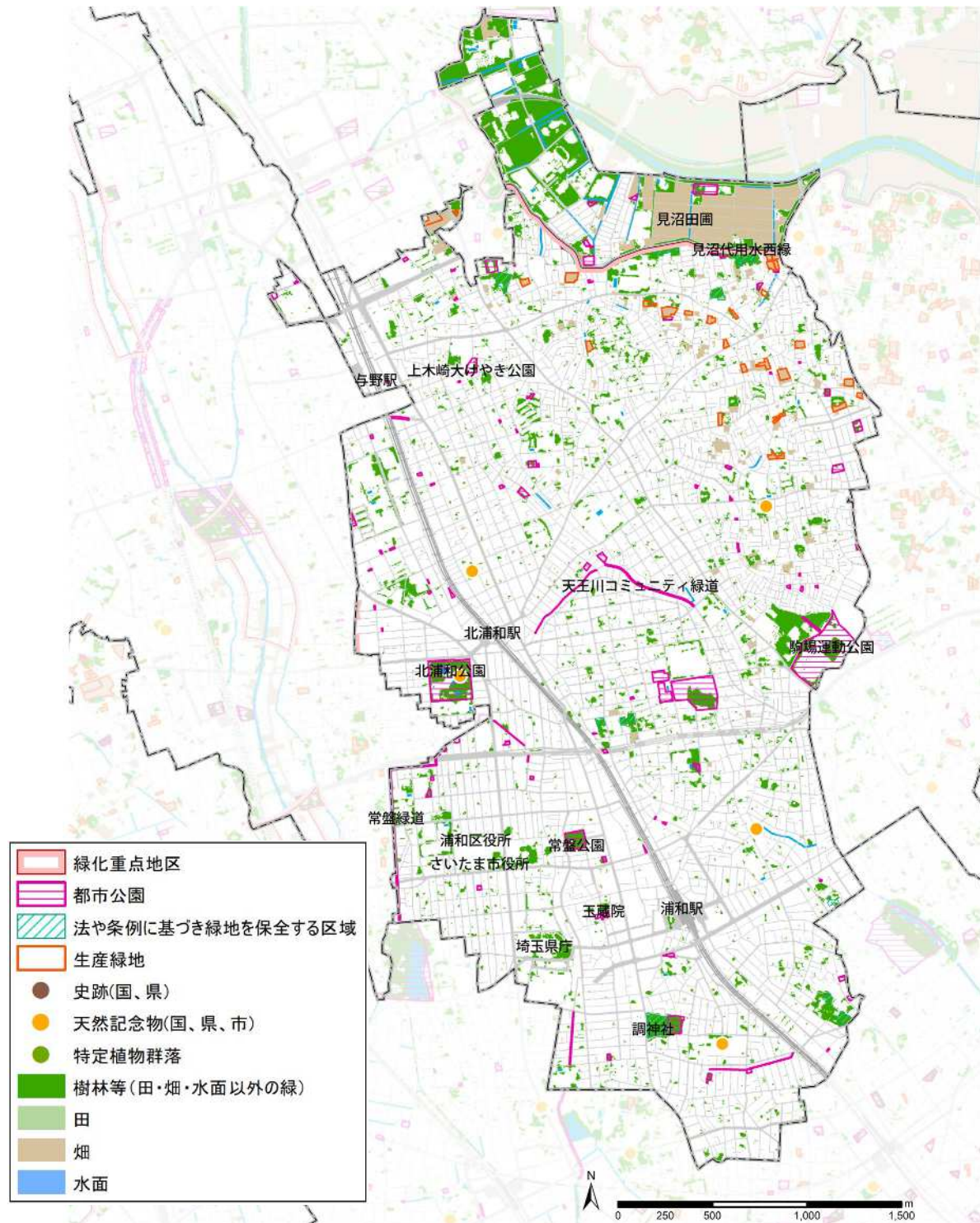


# 7 浦和区



## (1) 緑の現況

国・県・市の公共公益施設が集まった地区と緑豊かな落ち着いたきのある住宅地区の2つが共存しています。鉄道沿線では緑が少なく、北部には比較的樹林地などの分布が見られ、見沼田圃沿いの一部には斜面林が残っています。浦和区は宿場町として栄えたまちで、中山道沿いに調神社などの歴史的資源があります。都市公園は、駒場運動公園・北浦和公園・常盤公園などが整備されていますが、身近な公園の計画的な整備が必要です。また、浦和駅西口側では市街地再開発事業が進められており、新しい街並みの形成が期待されます。



## (2) 緑の将来像

### 歴史と文化が調和する緑豊かな文教のまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・浦和駅・北浦和駅・与野駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・浦和駅西口側の市街地再開発事業にあわせた緑化に努めます。
- ・国道 463 号のケヤキ並木の保全と育成に努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・上木崎大けやき公園や駒場運動公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。

#### ○見沼田圃等本市を支える緑の保全・活用

- ・見沼田圃、周辺斜面林の保全と、自然を活かした土地の有効利用に努めます。

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・調神社などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・見沼田圃・見沼代用水西縁・天王川コミュニティ緑道・常盤緑道から発展する緑のネットワークづくりに努めます。
- ・中山道と歴史的資源を活かしたネットワークづくりに努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。



天王川コミュニティ緑道

### 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

#### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。

#### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。



### 3 緑を生かして都市の強靱性を高め、安全・安心な都市をつくります

#### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めま

#### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。



木崎特別緑地保全地区

#### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

### 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

#### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。



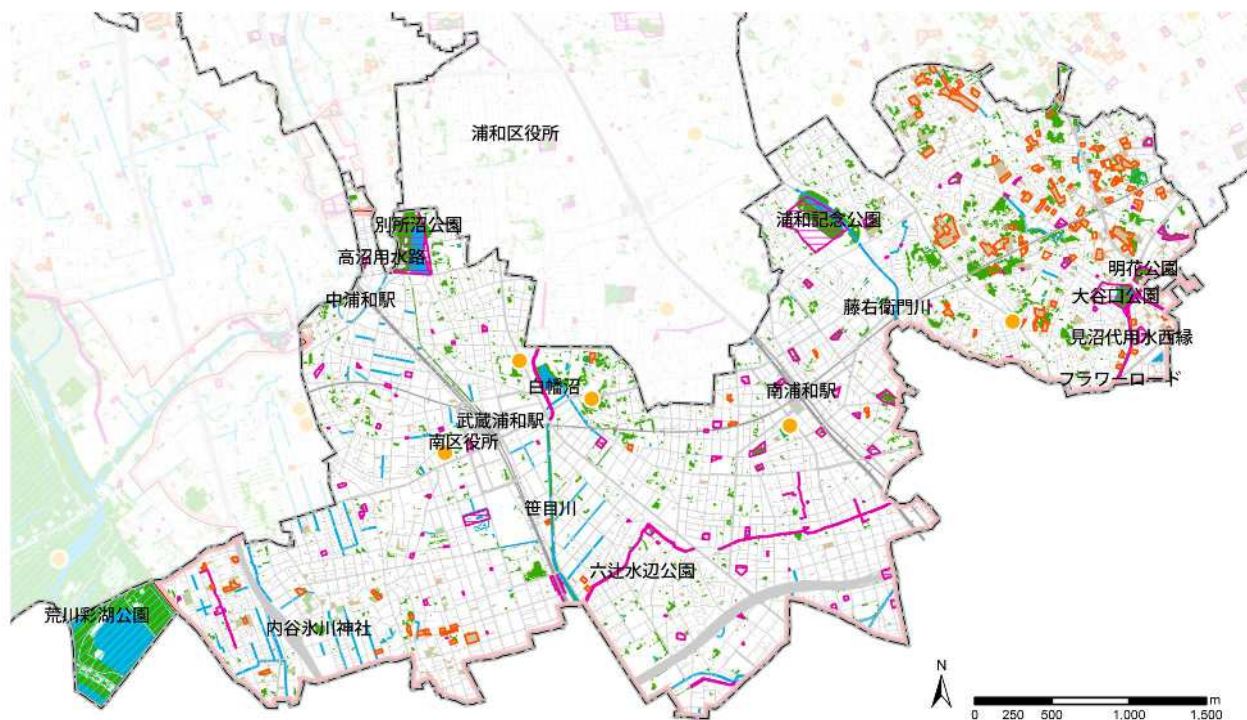
上木崎大けやき公園内花壇

## 8 南区



### (1) 緑の現況

台地の端部には別所沼や白幡沼があり、北には鴻沼川・高沼用水路、中央には笹目川、東には藤右衛門川と見沼代用水西縁などの河川が流れています。東部には、比較的多くの雑木林・屋敷林・農地が分布しています。都市公園は、荒川彩湖公園・別所沼公園・大谷口公園・明花公園などのほか、花と緑の散歩道などの緑道・散策路が整備されていますが、今後も身近な公園の計画的な整備や新たな樹林地の創出が必要です。





## (2) 緑の将来像

# 多彩な緑がつながる、住んでよかったまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・副都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・武蔵浦和駅・南浦和駅・中浦和駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・別所沼公園をはじめ地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。



別所沼公園

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・大谷場氷川神社などの社寺林・歴史的資源や台地端の斜面林・農地などの保全に努めます。
- ・鴻沼川・笹目川などの水辺を活用して、六辻水辺公園・フラワーロードと有効につなぎ、公園や歴史的資源を結ぶ緑と水のネットワークづくりに努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。



六辻水辺公園

### 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

#### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・新幹線沿線の緩衝帯（環境空間）で緑地等を整備し、市民の憩いの空間として活用します。

#### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。
- ・鴻沼川・笹目川・藤右衛門川・見沼代用水西縁などでは、親しみやすい水辺づくりを進めます。

### 3 緑を生かして都市の強靱性を高め、安全・安心な都市をつくります

#### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めます。

#### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

#### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

### 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

#### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。
- ・季節の花等を題材に、プランターを活用したガーデニング教室を開催します。



花いっぱい運動の様子（松本緑道）

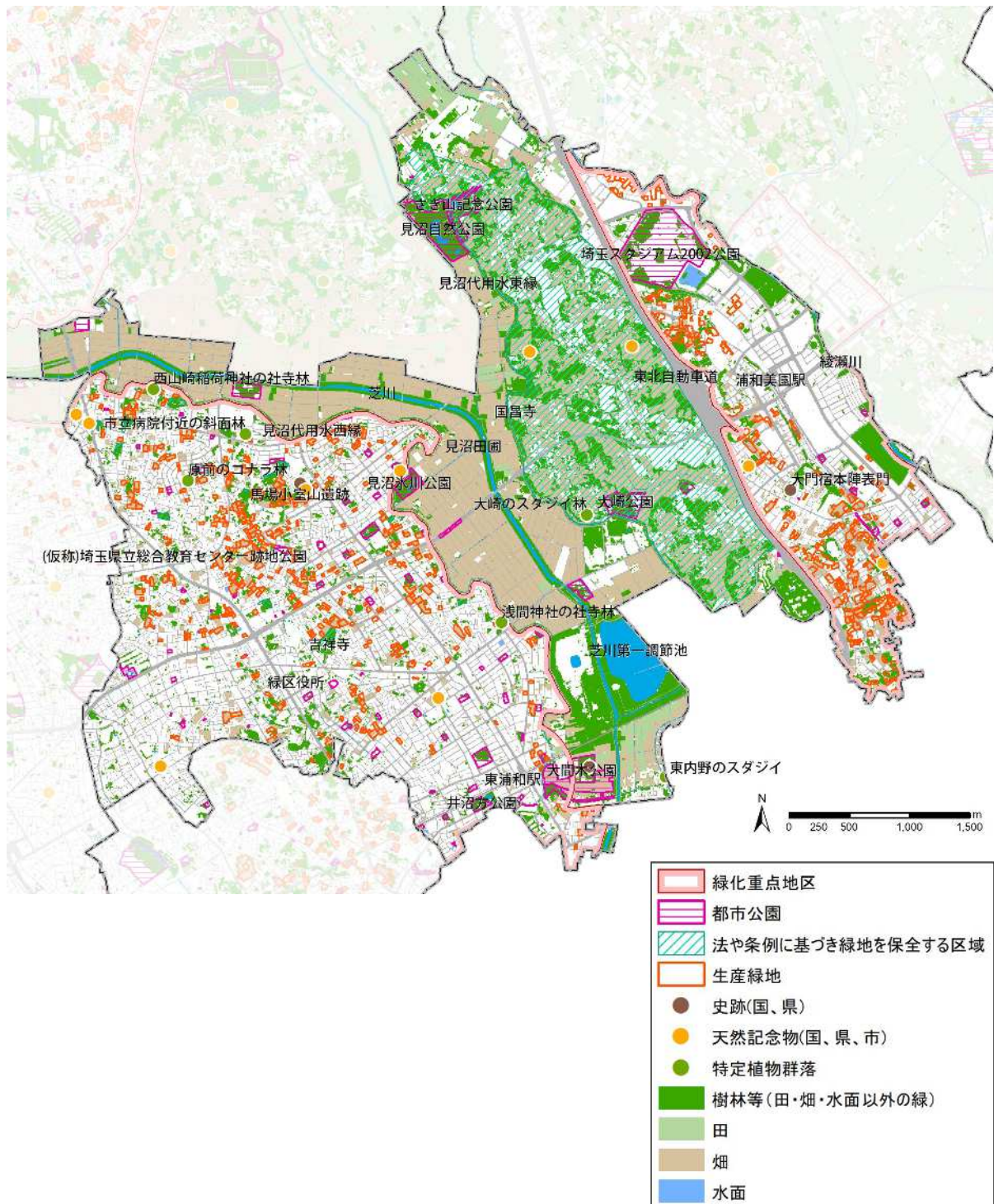


# 9 緑区



## (1) 緑の現況

中央には見沼田圃の緑が広がります。西部は土地区画整理事業による住宅地が多いものの、一部には雑木林や屋敷林が点在しています。東部は、東北自動車道を挟んで、樹林地と農地の広がる緑豊かな地区と、新しいまちづくりが進んでいる美園地区となっています。また、文化財が多いことからわかるとおり、緑区は古くから人の暮らしの営まれてきた場所です。都市公園は、見沼自然公園・見沼氷川公園・大崎公園などが整備されていますが、身近な公園の計画的な整備が必要です。



## (2) 緑の将来像

# 自然環境と調和した風かおる緑のまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・副都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・東浦和駅・浦和美園駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・大崎公園やさぎ山記念公園、見沼自然公園、(仮称)埼玉県立総合教育センター跡地公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。
- ・大門上池調節池広場の活用により、地域利用や民間イベント利用を促進します。
- ・見沼田圃における新たな散策拠点の検討や桜回廊の管理向上を図るとともに、情報発信力を強化します。



(仮称)埼玉県立総合教育センター跡地公園  
整備イメージ

#### ○見沼田圃等本市を支える緑の保全・活用

- ・見沼田圃・周辺斜面林、河川・水路を一体的に保全し、自然・農業とのふれあい・体験の場として活用します。
- ・見沼田圃の自然環境に配慮した公園や調節池の整備を進めます。

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・吉祥寺・氷川女体神社などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・武蔵野の面影を残す代山・南部領辻・大崎・北原・間宮一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用に努めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。
- ・東西の見沼代用水を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ歩行者ネットワークの充実に努めます。

### 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

#### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・土地区画整理事業にあわせて、身近な公園の整備と緑豊かな街並みの形成に努めます。



### ○農とふれあう機会の創出

- ・綾瀬川周辺の農地・集落地の緑の保全に努めます。
- ・地元農産物等を販売する緑区マルシェを開催します。
- ・市民が緑と触れ合える場の創出の一環として「菜の花まつり」を開催します。

### ○潤いある生活環境の形成

- ・大切に手入れされてきた個人や事業者の庭を公開する緑区オープンガーデンを実施します。
- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。



プラザイーストの屋上緑化

## 3 緑を生かして都市の強靱性を高め、安全・安心な都市をつくります

### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地・自然緑地などを活用し担保性を高めます。

### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。

### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。



見沼田圃の斜面林

## 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

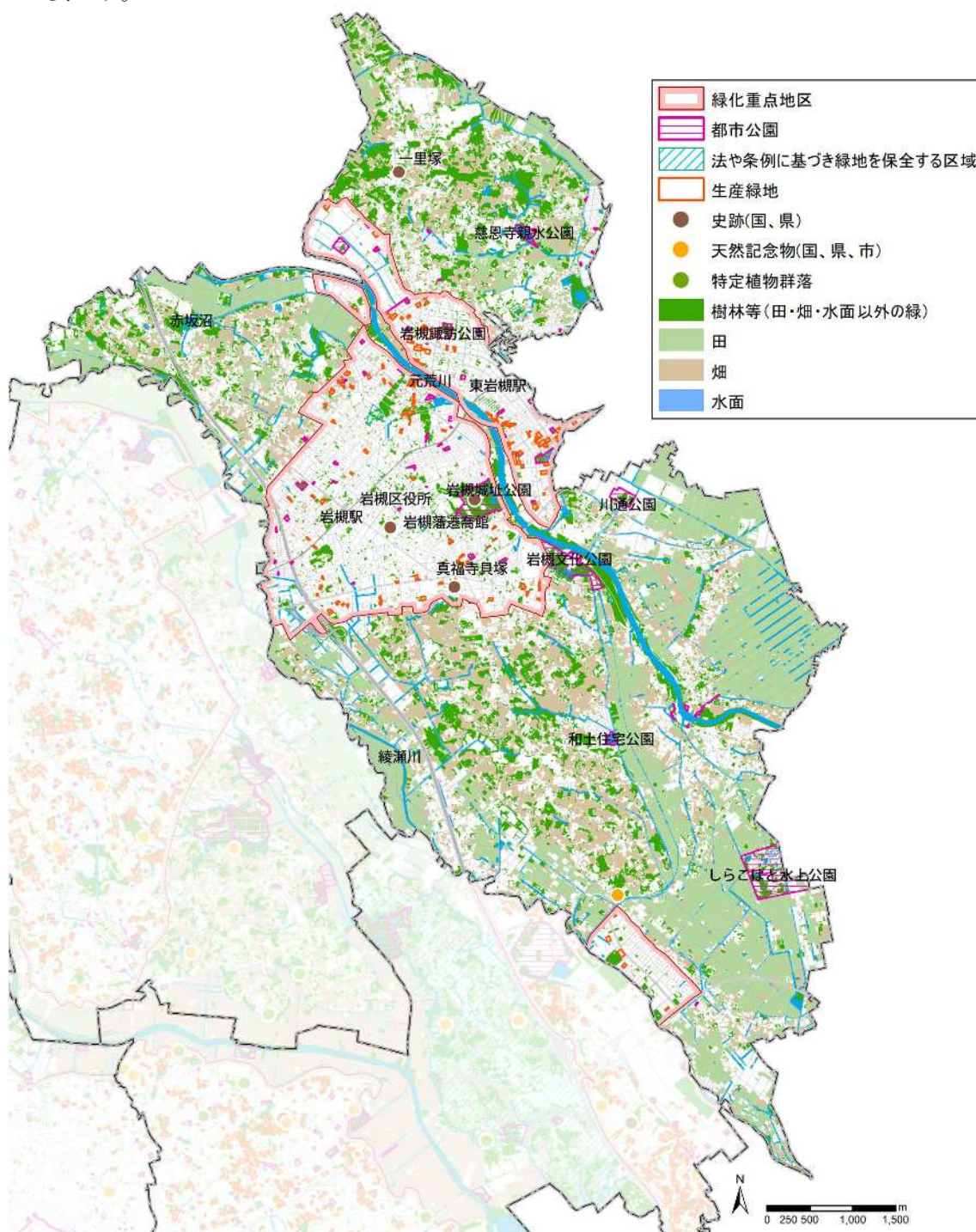
- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。
- ・美園地区で活動するアーバンデザインセンターみその(UDCMi)を中心に、産官学が連携して、緑のまちづくりを推進します。

# 10 岩槻区



## (1) 緑の現況

中央には自然が豊かな元荒川が南北に、西には綾瀬川が巡っています。元荒川・綾瀬川周辺の低地には水田を主とする農地や集落が広がっています。台地上には住宅地が形成されていますが、北部や南部の一带は、雑木林・屋敷林・農地が混在する緑の濃い地域となっているとともに、台地を取り囲むように斜面林が連続しています。また、中心市街地は岩槻城の城下町であったことから、岩槻城址をはじめとする歴史を背景とした地域固有の緑も多く残されています。都市公園は、岩槻城址公園・岩槻文化公園・川通公園などが整備されていますが、身近な公園の計画的な整備が必要です。





## (2) 緑の将来像

# 豊かな自然環境と歴史・文化が息づくまち

## (3) 緑の取組展開

### 1 緑を通じて都市の魅力・活力を高め、選ばれる都市をつくります

#### ○居心地の良いまちなかの形成

- ・副都心地区では、積極的に緑を生かした景観形成を進めます。
- ・岩槻駅・東岩槻駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

#### ○人を呼び込む魅力ある空間の創出

- ・岩槻城址公園や岩槻文化公園等、地域・まちづくりの交流や拠点としてのポテンシャルが高い都市公園について、Park-PFI やネーミングライツ等、民間活力を活用した公園の魅力向上を検討します。



岩槻城址公園

#### ○元荒川・綾瀬川と周辺の緑の保全・活用

- ・元荒川と周辺の貴重な自然環境の保全・復元に努めます。
- ・綾瀬川の周辺の斜面林などの保全に努めます。
- ・赤坂沼と周辺の斜面林の一体的な保全に努めます。

#### ○歴史・文化的な緑の継承・発展

- ・岩槻城下町の歴史を伝える緑や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・武蔵野の面影を残す北部・南部一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用を図ります。
- ・保存樹木の指定を進めます。
- ・元荒川・綾瀬川などの水辺を軸として、周辺の公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。

### 2 身近な緑を享受し、日々を快適に過ごせる都市をつくります

#### ○身近な公園等の魅力増進

- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・土地区画整理事業にあわせて、身近な公園の整備と緑豊かな街並みの形成に努めます。

#### ○農とふれあう機会の創出

- ・区の南部に広がる農地を市全体の環境を支える場として保全に努めます。



南部に広がる農地

### ○潤いある生活環境の形成

- ・学校などの公共施設の魅力ある緑化を進めます。
- ・開発などにあわせて敷地内や建物における多様な緑化を誘導します。
- ・住宅地等の緑化に対して助成を行い、緑豊かな街並みの形成を図ります。

### ○生物多様性の確保

- ・キタミソウ・チョウジソウ自生地などの貴重な自然環境の保全に努めます。

## 3 緑を生かして都市の強靭性を高め、安全・安心な都市をつくります

### ○緑を生かした雨水の流出抑制

- ・雨水の貯留・浸透機能の確保に寄与する樹林地について、保存緑地などを活用し担保性を高めます。

### ○災害時の安全性を高める緑の確保、適正配置

- ・延焼リスクと避難困難リスクが高いエリアにおいては、積極的な沿道緑化を促進し、避難時の安全を確保します。



赤間堀自然緑地

### ○環境に優しい建物緑化の推進

- ・壁面緑化や屋上緑化、緑のカーテンなどにより、建物の緑化を推進し、都市活動に伴う環境負荷の軽減を図ります。

## 4 地域における緑のマネジメント体制を構築し、緑のまちづくりを支えます

### ○多様な主体・多様な手法による連携の促進

- ・「花いっぱい運動推進会」などの緑のまちづくりに係る活動を支援します。
- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地の緑化を図ります。